

## ピエール・フォーシャル・アカデミー 奨学金を受賞して

歯学科5年 川 又 烈 志

今年度、本学歯学部がピエール・フォーシャル・アカデミー(PFA)奨学金授与の対象校として選出され、口腔生理学山村健介教授に推薦していただき、私がPFA奨学金を受賞させていただくこととなりました。そして、8月2日に歯学部長室にて、松本圭司PFA日本部会会長、片桐正隆日本海支部長、前田学部長、山村教授、小野教授の同席のもと、PFA奨学金授賞式を開催していただきました。松本会長より「日本のみにとどまらず、国際的な視野をもち、今後の歯科医学・歯科医療における活躍を期待します。」と、温かいお言葉をいただくとともに奨学金と賞状を授与していただきました。私は最初PFAという団体の存在を知りませんでした。PFAという国際的な団体の名誉ある奨学金を授与させていただいたことを大変光栄に思っています。また、前田学部長をはじめ、推薦して下さった山村教授、ここまで熱心に指導して下さった先生方に大変感謝しております。以下にPFAに関して、簡単ではありますが説明させていただきます。

ピエール・フォーシャル・アカデミーとは、近世歯科医学の祖といわれる故ピエール・フォーシャル博士(1678~1761)の名を冠し、1963年



にアメリカ合衆国ミネアポリスの歯科医 Dr. Elmer S. Best が設立した財団であり、米国に本部をおく歯科医学の国際組織です。現在、世界約65ヶ国で7千名の会員を擁しています。そして、PFA財団の活動の中には、①歯科界の進歩・向上に顕著な貢献をした歯科医を表彰②各国の歯科大学・歯学部の学生への奨学金授与③国際的に知名度の高い学術雑誌「Dental Abstract」を刊行などといったものがあります。

本学に入学して早いもので5年が経過しました。私は入学してから、学業はもちろんのこと部活動にも専念し、文武両道を目指してきました。学業では10月より患者様の治療を実際に行う臨床



実習が始まりました。いざ患者様を目の前にして、自分の知識不足や知識の曖昧さ、そして技術のなさを毎日痛感しながら、一つでも多くのことを患者様から吸収しようと臨床実習に励んでいます。また、部活動の面ではバレーボールで準優勝を2回デンタルにてすることができました。至らぬ点やPFAの掲げる奨学生には程遠い点多々あるとは思いますが、今回学生生活5年間をPFA奨学金受賞という素晴らしい形で評価していただけたことを大変嬉しく誇りに思っています。

学生生活もいよいよ残り1年となりました。まずは患者様により良い医療が提供できるよう、患

者様のことを第一に考え日々努力していきたいです。また学生生活でしか行うことができない部活動も全力で行い、充実した学生生活を過ごし、無事卒業を迎えたいです。そして、歯科医として社会にでて歯科医療に貢献するとともに、臨床の中で感じ取った疑問点を自分自身で解決し、歯科医学の発展に貢献できたらと考えています。そうすることがPFAのみならず、今までお世話になった人々への最高のお礼になるはずだと思います。この受賞に奢ることなく、今後も日々精進していきたいと思

